

《公立公的病院等再編・統合阻止》

2020年3月3日

424 愛知共同行動 通信

NO. 19

発行：「424 愛知共同行動」事務局
愛知社保協地域医療委員会(文責：長尾)

2月29日 第21回あいち社会保障学校

《第一部》『地域医療を守る学習交流集会』に35名参加！



2月29日、「第21回あいち社会保障学校」が開催され、午前中《第1部》『地域医療を守る学習交流集会』を開催し、35名が参加しました。

集会では、長尾事務局長が、「424 愛知共同行動」を結成するに至る経過と、1～2月における共同行動としての取り組み（名指し病院訪問・懇談、自治体訪問・懇談）と、9月26日「名指しリスト病院」発表以降の国の動き（厚労省の「通知」や20年度予算等）について報告し、参加者と懇談しました。

〈日本共産党一本村伸子衆議院議員〉 ①国会質問の中で、「東栄医療センター」のへき地医療を確保し充実させるための5つの手立て（補助金等）を確認した。町及び県に予算措置を実現させる運動が重要。 ②公立・公的医療を守るために、委員会・本会議でも「名指しリスト」撤回を要求し質問した。 ③コロナウイルス問題始め、災害等に対する対応は、DMATなどの体制を日常時から準備していくことが大切であり、愛知県は、「東南海地震」時における甚大な被災予測に対し、医療機関の万全の体制準備が必要。しかし、「地域医療構想」における病院・病床計画には、こうした非常時の計画は何も入っていない。公立・公的医療機関こそ、こうした非常事態を踏まえた医療の拡充・整備が必要と考える。



～忙しい中、集会に参加し、公立・公的医療機関を守る取り組みについて議会報告をしていただきました。

*会議の中では、「病院訪問・懇談」の報告等を行いました。

県医労連：矢野

刈谷民商：杉浦

自治労連：柳

県医労連：西尾



「病院訪問・懇談」の報告では、大半の病院がすでに新たな病院機能として「急性期」から「回復期」へ病床機能の転換を図るなど対応していることが報告されました。

*当面の行動では、「署名」や「議会の意見書採択」を進めるとともに、県下全ての医療機関が病床の見直し・転換・縮小を求められる中で、各病院・各自治体で「病院を守る会」等の運動づくりを進めていこうと今後の方針提起を行いました。